

## 第1章 聖徳グループ保育理念

評価基準 A. はい B. いいえ C. 該当なし

		項目	ページ	評価	評価・課題
第1章	聖徳グループ保育理念	園の保育理念や基本方針 真宗保育の理念 聖徳グループ職員という意識 職務分担	1~10	A	全体的によくできている。昨年度若手が弱いという結果があったが、今年度は、若手にも浸透し理解が深まっている。

## 第2章 総則

		項目	ページ	評価	評価・課題
第2章 総則	① 保育所保育に関する基本原則	保育所保育に関する基本原則 ・ 保育所の役割 ・ 保育の目標 ・ 保育の方法 ・ 保育環境 ・ 保育所の社会的責任	11~22	A	今年度は保育について話し合う時間を設けてきたので、保育の目標や保育指針に関する事柄などの理解が深まったと感じる。
	② 養護に関する基本的事項	養護に関する基本的事項 ・ 養護の理念 ・ 生命の保持 ・ 情緒の安定	23~35	A	保育の目的を理解し、子どもの情緒に寄り添い、子どもの気持ちや意見に耳を傾けて子どもとの信頼関係を築くよう心掛けて実践することができた。
	保育の計画及び評価	・ 全体的な計画の作成 ・ 指導計画の展開 ・ 保育内容等の評価 ・ 評価を踏まえた計画の改善	36~41	A	全体計画をもとに作成された年齢別年間計画に沿って、養護と教育を意識して月・週の計画を作成、実践、評価反省をして保育をすることができた。
	保育の計画及び評価	保育の内容 ① 保育の環境	42~50	A	子どもの発達や状態に応じて、人的環境・物的環境を整えることができた。
		保育の内容 ② 乳児保育	51~72	A	乳児一人ひとりに合わせて、健康・安全面に気を配り、情緒の安定を図るかかわりを丁寧に行っている。
保育の内容 ③ 長時間保育		73~78	A	家庭的な雰囲気や子どもが自由に過ごせる環境を整え、安心して迎えまでの時間を過ごせるよう配慮した。	
保育の内容 ④ 障害がある子どもの保育		79~89	-	認定を受けた園児がいない為、該当外ただし、気になる子どもへは保護者や専門機関と連携をとり、過ごしやすい環境を整えるよう努めた。	
保育の内容 ⑤ 子どもの人権	90~96	A	性差や国の違いに関わらず、一人ひとりの子どもの人権への配慮や個人を尊重する保育に取り組んできた。		

## 第3章 保育の内容

		項目	ページ	評価	評価・課題
		乳幼児期に関わるねらいと内容	97~112	A	登園後の視診や日中の健康観察をしっかり行い、情緒の安定を図るよう関わった。
	教育	3歳未満児保育 (1.2歳児保育) ① 健康	113~125	A	基本的な生活習慣を身に付けながら、健康に過ごせるよう丁寧に関わることができた。
	教育	3歳未満児保育 (1.2歳児保育) ② 人間関係	126~142	A	担任や友だちと様々な経験を通して、自分の気持ちや相手の気持ちに接し、人と関わる楽しさや喜びを感じられるように配慮した。
	教育	3歳未満児保育 (1.2歳児保育)	143~158	A	身近な環境に積極的に関わり、様々な感情の体験をしたり、小さな生き物に接し命の大切さを

第3章 保育の内容	保育の内容 ねらい	③ 環境			映えしたり、小さな生き物に接し虫の仕事を 知る機会を作ったりした。
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育）	159～177	A	身近にいる保育士等職員が正しい日本語を使う よう心掛け、絵本や紙芝居などを通して、たく さんの言葉に出会えるよう配慮した。
		④ 言葉			
	保育の内容	教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育）	178～190	A	環境の中に様々な素材や感覚に訴えるような物 を準備し、子どもが素材を使って自由に表現で きる環境を整えた。
		⑤ 表現			
		教育 3歳以上児保育	191～203	-	3歳以上児未満児保育園の為該当なし
		① 健康			
		教育 3歳以上児保育	204～220	-	
	② 人間関係				
	教育 3歳以上児保育	221～236	-		
	保育の内容 の留意事項	③ 環境			
		教育 3歳以上児保育	237～255	-	
		④ 言葉			
		教育 3歳以上児保育	256～268	-	
保育の内容 の留意事項	⑤ 表現				
	① 保育課程	269～273	A	全体的にはよく理解されているが、自分がしっ かり理解できているのか不安に感じている職員 が少しいる。	
	② 指導計画 策定	274～291	A	クラス担任を担っている職員はよく理解して指 導計画を作成しているが、保育士ではない職種 の方やサブ的立場の職員の評価が低かった。	
	小学校との連携	292～300	-	3歳以上児未満児保育園の為該当なし	
	保育内容の自己評価	301～309	A	定期的に自分自身を振り返る機会を持ち自分の 課題を見つけたり、職員同士で意見交換したり しながら保育実践をすることができた。	

#### 第4章 健康及び安全

		項目	番号	評価	評価・課題
第4章 健康及び 安全	子どもの 健康支援	子どもの健康支援	310～321	A	子どもの健康状態把握や感染症対応を行い、健 康支援に努めることができた。
	食育の 推進	食育の推進	322～335	A	日々の給食で食材を伝えたり楽しく食べられる よう配慮したりして関わっている。また、野菜 の栽培や収穫の体験も積極的に実践した。
	環境及び 衛生管理	環境及び衛生管理	336～341	A	子どもが過ごしやすい環境を整え、使用する場 所や玩具などを清潔に保つよう努めた。
	災害への 備え	・安全管理 ・災害への備え	342～349	A	ヒヤリハットの把握・分析を行い、災害対応訓 練を計画的に実践し、また備蓄・備品の点検、 保護者への連絡訓練にも取り組んだ。

#### 第5章 保護者に対する支援

		項目	番号	評価	評価・課題
第5章 保護者に 対する 支援	入所してい る保護者に 対する支援	保育園に入所している子どもの保護 者に対する支援	350～361	A	登降園の際に保護者と必ず言葉を交わすよう心 掛けた。また、行事の時や個別面談等を活用し て積極的に保護者の考えを把握したり、保育実 践をわかりやすく説明するよう努めた。
	地域におけ る子育て支 援	地域における子育て支援	362～365	A	地域の家庭を対象とした一時預かり保育の実践 に取り組んだ。また、児童虐待を疑う情報を得 た時の関係機関との連携体制も出来ている。
	地域や関係 機関との連携	地域や関係機関との連携	366～371	A	関係機関としっかり連携して園児に関する報連 相を行った。また、実習生や中学生の保育体験 等の受け入れを積極的に実践した。

## 第6章 職員の資質

		項目	番号	評価	評価・課題
第6章 職員の 資質向上	職員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の資質向上</li> <li>・ 職員の研修</li> <li>・ 研修の実施体制</li> </ul>	372~385	A	外部研修は、キャリアアップ研修を中心に取り組んだ。また、園内研修も計画的に実施し、保育実践の見直しや自己評価に取り組んできた。

### 【園全体の評価】

・今年度は、職員一人一人がコミュニケーションをしっかりととり、チームワークの構築に努めていった。また保育の再確認を行っていったが、皆真剣に研修に参加し、理解していないところや自分の保育の振り返りを行い、OJT担当や主任に相談する体制が出来ていた。子ども一人一人を受容しようとする意識も持ち、個性や特性を理解して子どもに関わることができていたことが良かった。後半はチームワークも良くなってきて、協力して、自分以外の職員の様子を見て手伝おうとすることが普通になり、自分の思いを話すことの出来る環境もできたように思う。職員一人一人が自覚を持った保育のおかげで大きなケガやトラブルもなく1年園運営ができたと思う。

### 【来年度の課題】

・今年1年作り上げてきた園職員のチームワークや信頼関係を構築し、風通しの良い人間関係を作り上げていく。上司との面接や面接シートを活用し、職員の声を聞く機会を増やし、個々の理解に努めていく。保育指針の内容を理解しながら、子ども、保護者一人一人に安心して園生活を送ってもらえるよう、さらにスキルをあげていく。・保育所保育指針を、再度読み込む中で、目指す子ども像や保育の意味を明確にし、保育の共通化を図ることで、自分のクラスだけでなく園全体で保育に当たる意識を持つ。

- ・子ども達一人一人に目を向け、子どもと保護者を支えていく体制を整える。
- ・行事や日々の保育の振り返りを大切にし、改善を行っていきながら日々の保育に生かしていく。

2025.1.20

社会福祉法人聖徳福祉会

れんげ保育園 高橋 もよ子